

## 第3章

## 環境ビジョンと施策大綱



## 第3章 環境ビジョンと施策大綱

### 1 環境ビジョンの考え方

環境ビジョンは、10年後、20年後の上田市の環境がどのようになっているかを描く、長期的な視点でとらえた目標となるものです。

市政における最上位計画である「第二次上田市総合計画」の将来都市像や、将来を担う市民や子ども達が望む環境像に対するイメージをふまえつつ、未来の上田市の環境ビジョンを描きます。

#### 1-1 第二次上田市総合計画の将来都市像

第二次上田市総合計画（期間：2016～2025年度）は、市の将来ビジョンを描き、その実現に向けてまちづくりの方向性や施策を総合的に示しています。そこで示された将来都市像、キャッチフレーズ、基本理念、施策大綱は次のとおりであり、第二次上田市環境基本計画は、これに基づいて環境施策を進めていきます。

将来都市像 ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる健幸都市  
キャッチフレーズ 住んでよし 訪れてよし 子どもすすすく幸せ実感 うえだ

#### ○ 基本理念

市民力	市民一人ひとりが上田市のために何ができるかを考え、参加するまちづくりを進めます。
地域力	福祉、環境、子育て、教育、防災などの分野において、実践的な仕組みによる支え合いのまちづくりを進めます。
行政力	職員の意識改革と横断的連携を図り、不断の行財政改革を行い、市民とともに歩む行政経営を進めます。

#### ○ 施策大綱

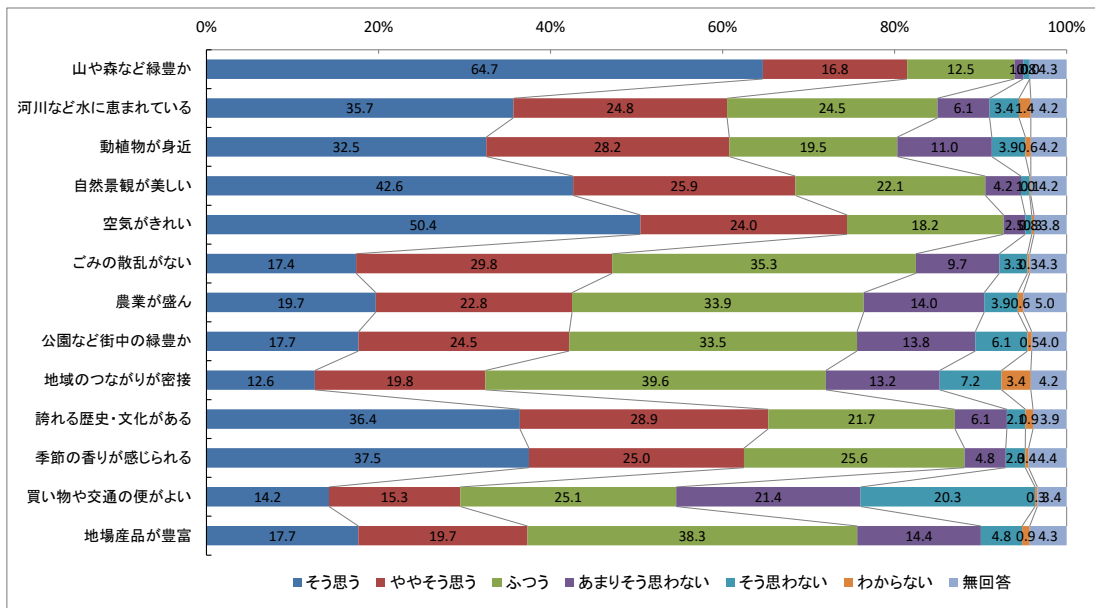
自治・協働・行政	市民が主役のまちづくり
自然・生活環境	安全・安心な快適環境のまちづくり
産業・経済	誰もがいきいき働き産業が育つまちづくり
健康・福祉	ともに支えあい健やかに暮らせるまちづくり
教育	生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり
文化・交流・連携	文化を育み、交流と連携で風格漂う魅力あるまちづくり

## 1-2 上田市の環境のイメージと将来に残したいもの

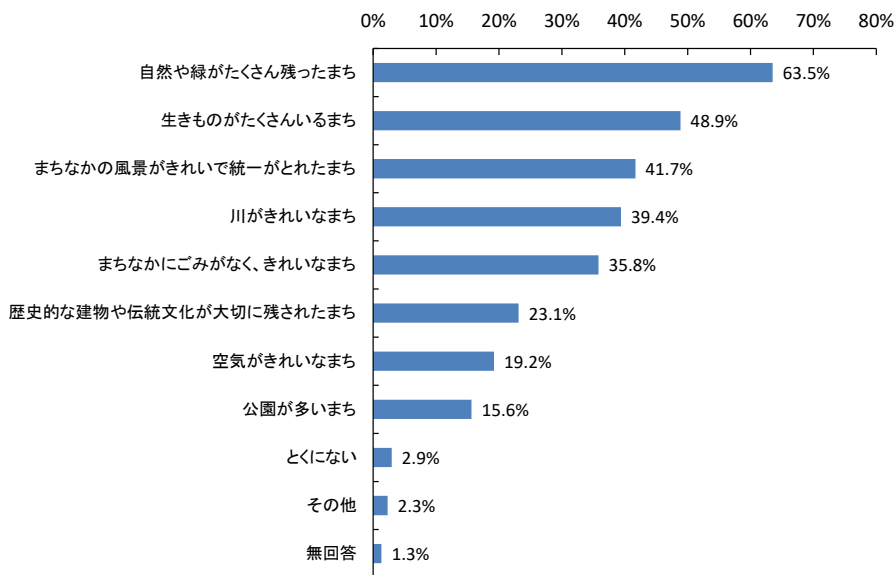
第二次環境基本計画の策定のために市民や小中学生の意識調査（アンケート）を行いました。市民が感じる上田市のイメージとして多かったのは「山や森など緑豊か」や「空気がきれい」「自然景観が美しい」でした。小中学生が望む未来の上田市の環境で多かったのは「自然や緑がたくさん残ったまち」や「生きものがたくさんいるまち」「まちなかの風景がきれいで統一がとれたまち」「川がきれいなまち」「まちなかにごみがなく、きれいなまち」でした。

市民、小学生ともに、上田市の豊かな森林や緑、河川等の水辺、そこに生息する動植物といった貴重な自然やきれいな空気や水、景観を守りたいという意識が高いことがわかりました。

### ■ 市民が感じている上田市の環境



### ■ 小中学生が望む将来の上田市の環境



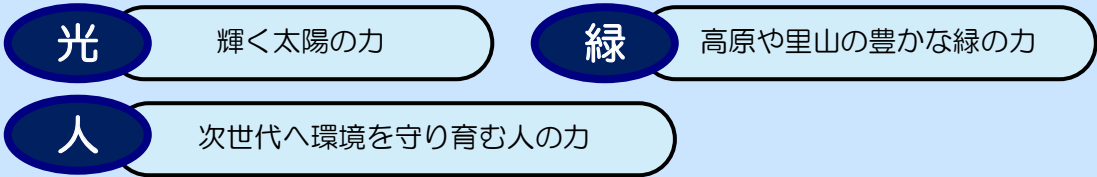
## 2 環境ビジョン

第二次上田市総合計画の将来像や、上田市の環境の現状と市民等の意見をふまえ、上田市の環境ビジョンを以下のように描きます。

### 環境ビジョン

光・緑・人が輝く  
自然環境共生都市 うえだ

#### 輝く力のイメージ



上田市は、上信越高原国立公園の菅平高原や八ヶ岳中信高原国定公園の美ヶ原高原、太郎山や独鈷山等の山々が連なり、四阿湧水や武石湧水群等が湧き、千曲川や依田川、神川、浦野川等の河川が流れ、豊かな自然と歴史、文化と調和した環境を守り育んできたまちです。

これらの豊かな環境は、私たちに健康で安心して暮らせる生活環境を与えると同時に、産業を支える貴重な資源となります。たとえば、森や大地は雨を蓄えることで、急激な河川の増水を抑える力を持っています。また、森は、再生可能エネルギーを生み出す木質バイオマスを供給するとともに、多くの動植物に生息・生育の場を提供しています。さらに、上田市は全国有数の日射量を誇り、太陽光・太陽熱といった枯渇の恐れがないエネルギー資源が豊富なまちです。これらの資源を、将来の世代が享受できるよう環境を守り育むとともに、引き継いでいかなければなりません。

上田市の自然環境を、輝く太陽の力（光）、高原や里山の豊かな緑の力（緑）、人の力（人）が連携し、ともに支え合うことで新たな環境を創造していく、そのような姿を環境ビジョンとしました。

### 3 施策大綱

市の将来の環境ビジョンを実現するために、上田市環境基本条例の基本方針と国の環境基本計画をふまえ、以下の5つの施策大綱を設定します。

<b>施策大綱 I</b>	<b>安全・安心な生活環境の保全</b>	<b>快適</b>
<p>空気や水、土等は、私たちが健康で快適に暮らすために、有害物質に汚染されず安全であることが必須です。本市は、県東部の中心都市で幹線道路が多いことから、交通量の増加による自動車等からの大気汚染等が懸念されます。また、10以上の1級河川があり汚濁の少ない美しい河川を今後も引き継いでいくことが重要です。これらが汚染されず、安全で健康かつ快適に過ごしていけるまちを目指します。</p>		
<b>施策大綱 II</b>	<b>人と自然の共生</b>	<b>自然</b>
<p>多くの市民が、市の美しい環境で思い浮かべるのが、里山や森林等の豊かな自然です。自然は、食や水等、私たちの生活に必要な不可欠なものを提供するだけでなく、自然の中に住む生物の生育環境を提供してきました。恵まれた自然環境を保全するだけでなく、それらとふれあいの場を多くもつことで、自然との共存を目指します。また、菅平高原や美ヶ原高原等市外から訪れる人々にもふれあいの場を多く提供していきます。</p>		
<b>施策大綱 III</b>	<b>資源循環と地球環境の保全</b>	<b>資源</b>
<p>現在、私たちが使用しているエネルギーの多くは石油等化石燃料に依存しており、また、それらは有限資源と言われています。従来、人間は薪や太陽、水等自然由来のものを資源として活用し、生活を支えてきました。本市は、日照量も多く、木質バイオマス等自然由来のエネルギー資源を活用できる可能性が大いにあります。自然を破壊することなく、これらを有効活用し、継続的な資源の確保と地球環境にやさしいまちを目指します。</p>		
<b>施策大綱 IV</b>	<b>歴史・文化と緑・景観の保全</b>	<b>調和</b>
<p>本市は、古くは奈良時代から政治・文化の中心地として栄え、戦国時代に城下町が形成され、今でも歴史的な家並みや文化財等が多く残っています。これらの文化的資源を保存し、古いものを大切に作る心を育むとともに、調和のとれた美しいまちなみが残るまちを目指します。</p>		
<b>施策大綱 V</b>	<b>環境教育と地域連携の推進</b>	<b>人</b>
<p>本市の環境ビジョンは、市民や事業者、市外から訪れる人々等の協力によって実現します。環境問題は、一部の人が取り組んで解決できるものではなく、一人ひとりが環境に対する理解を深め、環境に配慮した行動を実践することが大切です。普段から環境のことを考え、環境のために行動できる人々が集うまちを目指します。</p>		

